

## 第 25 回展示

# 看護の歴史の中の看護学科・看護学 研究科の歩みと展望



展示期間：2012年6月29日～

展示場所：学術情報総合センター1階

大阪市立大学 大学史資料室

## 看護の歴史の中の看護学科・看護学研究科のあゆみと展望

大阪市立大学医学部看護学科は2004年に開設され、その後、2008年には修士課程（現、前期博士課程）、2010年には後期博士課程が加わり、一貫した教育体制が整いました。看護学研究科は、大阪市立大学にある10研究科の中で最も新しい研究科ですが、本学の看護師教育の歴史は古く、1949年開設の大阪市立医科大学厚生学院に端を発します。本学における看護教育の伝統である「変わらざる“慈愛の光”ともし継ぎて」の精神を受け継ぎ、時代とともに変化するニーズに対応し、1955年には医学部附属厚生学院、1977年には医学部附属看護専門学校を経て、1998年には大阪市立大学看護短期大学の開設に至り、現在の9階建ての学舎が建設されました。

日本の看護教育の歴史は長く続いていますが、大学教育課程数は、40年前には全国で5校のみでした。約20年前から看護系大学が急増し、2012年には200校を超え、大阪府下だけでも11校になりました。大学院数は、修士課程が128校、博士課程が62校に達し、大阪府下で大学院を設置しているのは大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学の3校であり、本看護学研究科は大阪市内にある唯一の看護系大学院です。

阿倍野キャンパスにある看護学研究科・医学部看護学科は交通の便がよく、医学研究科・医学部医学科や医学部附属病院に隣接し、教育・研究の環境に恵まれています。質の高い看護ケアを提供できるように看護の専門性を自ら探求する環境が整っているといます。

医学部看護学科の看護師国家試験では開学以来100%の合格率であり、保健師国家試験の合格率も全国平均を上回り、95～98%で推移しています。医学部看護学科の卒業生は5年間で327名と、まださほど多くありませんが、市大医学部附属病院を中心とした大阪市、大阪府の医療機関に多くの看護師を輩出するとともに、大阪市などの保健師も輩出しています。後期博士課程は設置後3年目のため修了生はありませんが、前期博士課程の修了生は大学教員や専門看護師、病院看護師として活躍しています。また、看護学科、看護学研究科だけでなく、医学部附属看護専門学校、看護短期大学部、大阪市立保健専門学校の卒業生で構成される看護系同窓会「よつば会」では、講演会や懇親会を通して、卒業生相互の親睦を図り、看護活動の向上に貢献しています。

人々のニーズが多様化し、医療技術が高度化している臨床現場等への貢献に加えて、大阪市など自治体への貢献も大きいものがあり、看護学研究科の果たす役割はますます大きくなるものと考えています。

今回の第25回展示は、本大学の研究科の中で最も若い看護学研究科が、ナイチンゲールに象徴される様に長い看護の歴史の中で生まれたあゆみを、看護歴史年表や懐かしい写真とともに「看護学科・看護学研究科のあゆみ」として展示いたしました。

平成24（2012）年7月

## 展示目録

- 年表1 看護の歴史－戦前・戦中・戦後～現代  
 年表2 公衆衛生看護の歴史における地域保健活動 - 保健婦の学校保健・産業保健活動のあゆみ  
 年表3 看護の歴史の中にある大阪市立大学医学部附属看護専門学校の教育課程のあゆみ  
 -科学的看護の世界へ-

- 写真展示 戦後の大阪の街  
 戦前・戦後の保健師・看護師の活動  
 大阪の保健師教育の歴史  
 大阪市立大学看護教育のあゆみ  
 ナイチンゲール像と説明

- 展示品 看護教程草本1・2・3 (昭和20年代に用いられていた教科書)  
 保健師地域訪問カバン  
 ナースユニフォームカタログ、キャップ・ナースシューズ  
 沐浴赤ちゃん模型・トラウベ、看護用具のいろいろ  
 記念誌

## 年表

年表 看護の歴史の中にある大阪市立大学医学部附属看護専門学校の教育課程のあゆみ  
 -科学的看護の世界-

出典：市大看護専門学校「50年史より」

年月日	大阪市立大学看護学教育 沿革・行事	年月日	
1947 (昭22)		昭和22 5. 7. 3 11.	・日本国憲法施行 ・保健婦・助産婦・看護婦令公布 ・保健婦・助産婦看護婦養成所指
1948 (昭23)		昭和23 2. 7. 7. 13 7. 30 12.	・大阪市立医大開設許可 (入学2 ・大阪府衛生部医務課に看護師 ・厚生省看護課設置 ・優性保護法公布 ・保健婦・助産婦・看護婦法 (初 ・保健婦・助産婦・看護婦学校指
1949 (昭24)	・大阪市立医科大学厚生学院として設立 (3年課程・全日制) ・一学年定員20名で発足 ・校舎を千早寮 (養護婦寮) と附属病院内の一部に設置 ・小田俊郎 (医大病院長) 学院長に就任 ・三井毛三教務主任就任 ・第1期生入学式 入学生22名 ・民生部ミス・レイ女史視察 (マニトフ)	昭和24 6. 1	・大阪市立大学開学式 (以後、こ
1950 (昭25)	・北地階 (元本館地階) に校舎移転	昭和25 3. 25 4. 10. 14-15	・新制度甲種乙種看護婦養成所指 大阪では甲種 (日本・国立鉄道 看護短大設置 ・第二回甲種看護婦国家試験施行
1951 (昭26)	・看護婦養成施設指定のための文部省実施視察 ・看護婦養成所として、文部大臣の指定をうける。(定員20名)	昭和26 4. 14 6. 25 8. 10	・保健婦・助産婦・看護婦法の 看護婦の甲種、乙種看護婦制度 ・准看護婦制度制定 ・看護婦学校養成所 (3年課程) ・日本看護協会発足 ・保健婦・助産婦・看護婦指定基
1952 (昭27)		昭和27 4. 5.	・新制度保健婦・助産婦養成所開 高知県立女子大学家政学部衛生 看護学会北館竣工 大阪府看護士業功労者表彰は!
1953 (昭28)	・桜根好之助 (医大病院長) 学院長に就任	昭和28 4. 1	・旭町に看護学会ほほ完成願町よ
1954 (昭29)		昭和29 3. 31	・保健婦・助産婦・看護婦法一部 養護従事者法廃止 ・乙種看護婦養成所廃止
1955 (昭30)	・大阪市立医科大学が「大阪市立大学」に編入された大阪市立大学医学部附属厚生学院と改称	昭和31 3.	
1956 (昭31)		昭和32 7. 12.	・市大病院北館竣工 ・看護学校2年課程設置 ・看護学会西館竣工
1957 (昭32)	・澤田平十郎 (市大病院長) 学院長に就任	昭和33 10. 1	・基準看護実施
1958 (昭33)		昭和36 2.	・市大病院南館竣工
1961 (昭36)	・井上富美子教務主任に就任 ・藤野守次 (市大病院長) 学院長に就任 ・厚生学院同窓会第1回総会 (以後1年に1回開催) ・池田一三 (市大眼科講座教授) 学院長に就任 ・校舎を第二若草寮一階に移転	昭和37 9. 昭和38 5. 7.	・看護学校2年課程 (定時制) 設 ・日本で初めて国立療養所東京北 老人福祉法制定
1962 (昭37)		昭和39 4. 4.	・聖路加看護大学誕生 ・高等学校衛生看護科設置
1963 (昭38)	・第2部設置に伴う文部省看護学視学委員視察 ・第1部同窓会誌会報 (創刊号) 発刊 ・第2部看護養成所の指定を文部省からうける。2年課程 (定時制) が第2部として併設される (定員30名) 以後3年課程は第1部と呼称 ・荒木富美子第2部教務主任に就任 ・第2部 第1期生入学生26名	昭和42 4. 1	・看護婦教育のカリキュラムが改 大阪府立白菊高等学校 (衛生系 大阪大学医療技術短期大学部看護 大学紛争のきざし現れる。 ・市大病院東館竣工 ・保健婦・助産婦・看護婦学校養
1964 (昭39)		昭和42 4. 1	
1967 (昭42)	・全寮制を廃止 ・山本馨 (市大耳鼻咽喉科学講座教授) 学院長に就任	昭和42 4. 1 6. 10. 11. 11. 30	
1968 (昭43)	・和田裕子第2部教務主任就任		

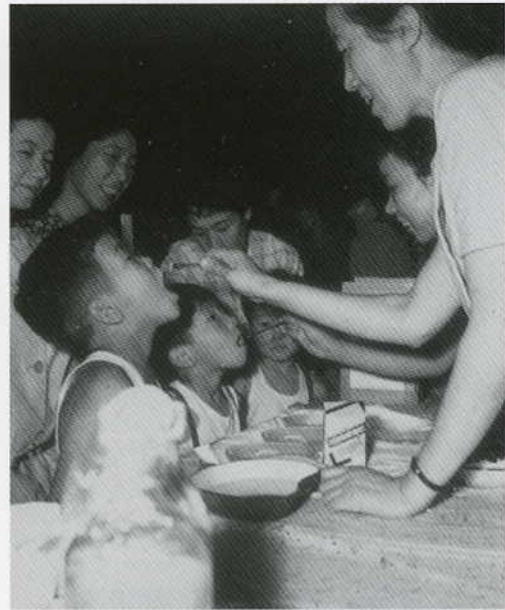
■ 写真

写真：健康診断



赤ちゃんの健康診断-起き上がりこぼし見てようね  
-何てお利口さんな嬢ちゃん-

写真：ワクチン経口投与



ポリオ生ワクチンの一斉スプーン経口摂取  
(小児マヒ予防対策)

写真：人形を用いた保健活動



大阪市育児技術教室一着物姿、つつましやかに且つ真剣、学び続けます

写真：看護教育



戦後の質素な中でも一生懸命に、楽しげに学ぶ看護婦の「金の卵たち」

■ 展示品

展示品：保健師地域訪問カバン



保健師(婦)は、「訪問カバンひとつ」に看護力を詰め込んで、家庭訪問、保健衛生・公衆衛生看護活動を実施しています。今も昔も殆ど同じ大きさ・中身の鞆です。

展示品：看護用具



ナースのお供：「時計」逆さから見える時計><ナース必需品の鉏：先が丸い、カラフル、かわいい鉏><ラテックスフリー(ゴムアレルギー-患者用)カラー-脈血帯

## ■ 展示品

展示品：看護教程草本（古い教科書）



看護教程草本：昔の看護の教科書

展示品：トラウベ



胎児心音聴取器 トラウベ：ナースユニフォームの後ベルトに挟んで走れる！優れた母子の味方兵器！

展示品：ナースシューズ



…こんなに変わりました！  
ひも付き定番ナースシューズも、近代はパンプス、  
現代はエアークッションシューズ

展示品：沐浴赤ちゃん模型



やわらかさ・首の揺れ具合は本物そっくり！

## History

昭和24年	4月	大阪市立医科大学厚生学院（3年課程全日制）として設立
昭和30年	4月	大阪市立医科大学が「大阪市立大学」に編入され、大阪市立大学医学部附属厚生学院と改称
昭和38年	3月	2年課程（定時制）が第2部として併設、以後、3年課程は第1部と改称
昭和52年	4月	「校名」を大阪市立大学医学部附属看護専門学校と改称
昭和58年	3月	大阪市立大学医学部附属看護専門学校2年課程（定時制）を廃止
平成2年	11月	大阪市立大学医学部内に、「看護短期大学部（仮称）設置検討委員会」設置
平成3年	9月	大阪市立大学医学部 教授会が委員会答申を承認
平成6年	10月	大阪市立大学評議会で看護短期大学構想を承認
平成8年	3月	大阪市立大学 看護短期大学部学舎の建設着工
平成9年	4月	大阪市立大学 看護短期大学部設置認可申請
平成9年	12月	大阪市立大学 看護短期大学部設置認可
平成10年	4月	大阪市立大学 看護短期大学部開学
平成16年	4月	大阪市立大学 医学部看護学科開設
平成20年	4月	大阪市立大学 看護学研究科（修士課程）を開設
平成22年	4月	大阪市立大学 看護学研究科 後期博士課程を開設（修士課程を前期博士課程と改称）

## —過去の展示—

(場所: 学術情報総合センター1階)

	【標 題】	【期 間】
第1回	大阪市立大学の歩み	1991.11.11 ~ 1992.7.15
第2回	クラブ誌に見る学生気質	1992.7.15 ~ 1993.1.6
第3回	学び舎を奪われた十年間 - 杉本学舎接収の苦難 -	1993.1.6 ~ 1993.9.7
第4回	大阪商業講習所の誕生 - 市大のルーツを探る -	1993.9.7 ~ 1994.4.8
第5回	自由主義者・河田嗣郎 - 初代大阪商大学長の人と思想 -	1994.4.8 ~ 1994.10.26
第6回	高度先進医学をめざして - 市民と歩んだ医学部の半世紀 -	1994.10.26 ~ 1995.5.2
第7回	家政学部(現・生活科学部)の誕生 - 市立大学創設のひとこま -	1995.5.2 ~ 1995.11.13
第8回	戦時下の大阪商科大学	1995.11.13 ~ 1996.5.30
第9回	工学部の源流 - 大阪市立都島工業専門学校 -	1996.5.30 ~ 1996.10.11
<b>学術情報総合センター1階</b>		
第10回	大阪市立大学の創設と恒藤恭	1996.10.11 ~ 1997.5.28
第11回	理学部 - 歴史のなかの現在 -	1997.5.29 ~ 1997.12.16
第12回	市民の大学をめざして - 寄せられた支援と独自性の創造 -	1997.12.1 ~ 1998.11.25
第13回	商学部・経済学部半世紀の歩み	1998.11.2 ~ 1999.10.18
第14回	市立大学の120年	1999.10.18 ~ 2000.12.13 (~ 2004.4.22 縮小して常設展示として併設)
第15回	保健体育科研究室の歩み	2000.12.1 ~ 2001.10.11
第16回	経済研究所 73年の歴史と新たな挑戦	2001.10.1 ~ 2002.11.12
第17回	学舎の記憶 - 建築で辿る大阪市立大学の歴史 -	2002.11.12 ~ 2004.4.22 (以降、「旧図書館 1/100 模型」を常設展示)
-	(EU展 学術情報総合センター)	2004.4.23 ~ 2004.8.5
第18回	初代学長・恒藤恭の人と学問 - 新資料と絵画・スケッチで描く -	2004.8.6 ~ 2005.8.8
第19回	法学部・法学研究科 53年の歴史と新たな挑戦	2006.2.28 ~ 2006.10.31
-	(学術情報総合センター開設10周年記念展示)	(2006.11.1 ~ 2006.12.13)
第20回	「論」の遺産 - いま、科学技術と社会のあり方を問う -	2006.12.14 ~ 2007.9.28
-	(「萬葉学の先達」展 学術情報総合センター・萬葉学会)	(2007.10.1 ~ 2007.12.13)
第21回	文学部・文学研究科のあゆみと挑戦	2007.12.1 ~ 2008.10.31
-	(「EUってなに? - ヨロッパ連合の基礎知識」学術情報総合センター)	2008.11.6 ~ 2008.11.28
-	(「南部陽一郎名誉教授ノーベル賞受賞記念展示」理学研究科)	(2008.12.8 ~ 2009.2.6)
第22回	大阪市立大学の学術標本(第1期)	2009.2.9 ~ 2009.7.31
-	大阪市立大学の学術標本(第2期)	2009.8.1 ~ 2010.5.18
第23回	「創造都市」への挑戦	2010.5.19 ~ 2011.7.31
第24回	モダニズムの学舎と建築家 伊藤博文	2011.8.1 ~ 2012.6.27

大阪市立大学 大学史資料室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

学術情報総合センター6階

tel 06-6605-3371 fax 06-6605-3372

<http://www.osaka-cu.ac.jp/faculties/archives/index.html>